

【腎臓移植について】

腎不全の治療には、血液透析と腹膜透析、**腎移植**があります。

腎臓移植とは？

腎臓移植には、家族・配偶者・身内から2つの腎臓のうちの1つの提供を受ける「生体腎移植」と、

脳死や心臓死になられた方から腎臓の提供を受ける「献腎移植」の2種類があります。

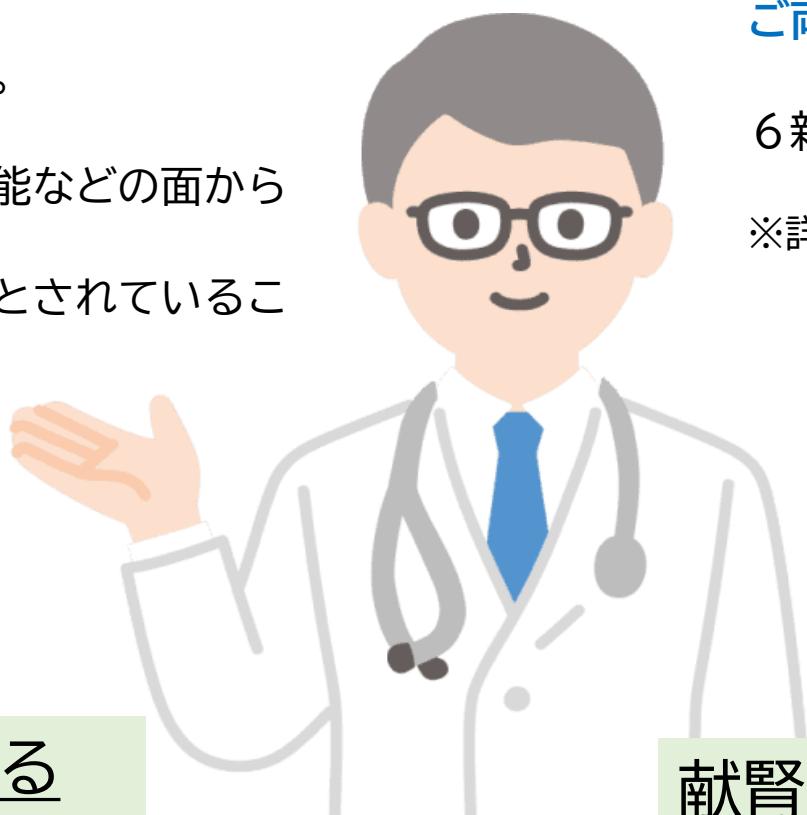
何歳まで移植が可能ですか？

手術に耐えられる健康状態であれば、年齢のみで制限されません。

しかし、実際には心肺機能などの面から

70歳ぐらいまでが限度とされているこ

とが多いようです。



生体腎移植のドナーは誰でもなれるの？

ご両親・配偶者・兄弟姉妹など

6親等以内の血族と3親等以内の姻族となります。

※詳細に関しては医療スタッフまでお尋ねください。

血液型はあっている必要がありますか？

術前の処置により、**血液型が違っていても移植は可能です。**

献腎移植を希望する場合は？

日本臓器移植ネットワークへの登録が必要です

※詳細に関しては医療スタッフまでお尋ねください。

● メリット

- 透析が不要になる
- 生命予後に優れている
- 時間の制約がほとんどない
- 食事、飲水の制限が少ない



● デメリット

- 手術が全身麻酔の大規模手術になる
- 免疫抑制薬の継続した内服
- 拒絶反応などによる腎機能障害
- 移植腎喪失への不安

現在の治療で困っていることはありませんか。
担当医師や医療スタッフへお気軽にご相談下さい。

